

【ATMシステム】

フェーズ		リスク			
		項目		本検討会で検討した主なリスクの例	
Ⅰ	金融機関内のシステム・体制の構築	1	情報セキュリティ問題が重要な問題と位置付けられていない ATMシステムのセキュリティ対策の理解・認識が不十分	①	ATM周辺のパンフレットを入れる箱などに盗撮カメラ等を設置される
				②	防犯カメラを設置するなどの対応を取らないため、犯行の標的とされる
		2	金融機関内に保管されている口座情報・暗証番号等が流出	①	内部者が口座情報等を故意に流出させる
				②	内部者が口座情報等を流出させ、紛失又は窃取される
				③	犯人が利用者を装い、暗証番号を失念したとして金融機関から聴取する
		3	事務委託業者・システム構築業者等による口座情報・暗証番号等の流出	①	事務委託業者等が口座情報等を故意に流出させる
				②	事務委託業者等が、顧客情報を保存したパソコンでファイル交換ソフトを使用し、暴露ウィルスにより情報が流出する
				③	事務委託業者等のサーバーに不正アプリケーションが侵入し、顧客情報が外部のサーバーに転送される
Ⅱ	口座開設キャッシュカードの交付	1	類推されやすい暗証番号を顧客が選択	①	顧客が生年月日等を暗証番号に設定する
		2	キャッシュカードが正当な顧客に交付されない	①	内部者が顧客に無断で違法にキャッシュカードを作成する
				②	キャッシュカード送付の際、送付物が窃取される
Ⅲ	カード利用時	1	口座番号の漏洩	①	ATMコーナーに設置されたゴミ箱から口座番号が記載された利用明細票が窃取される
				②	キャッシュカード挿入口に隠しカメラが設置され、盗撮される

【ATMシステム】

フェーズ		リスク			
		項目		本検討会で検討した主なリスクの例	
Ⅲ	カード利用時	1	口座番号の漏洩	③	スキミングによりカード情報が詐取される
				④	通信回線を流れる伝送データが窃取される
				⑤	保守員によりATM内部にデータを不正に蓄積する機器が組み込まれる
				⑥	ICカードから情報が漏洩する(海外にてICキャッシュカード内のデータが解析されたとの事例を踏まえ)
		2	暗証番号の漏洩	①	暗証番号が類推される
				②	ATM画面を撮影する隠しカメラが設置され、盗撮される
				③	暗証番号入力時のATM画面をのぞき見される
				④	ATMサービスの暗証番号を金融以外のサービスで用い、その結果、暗証番号が流出する
				⑤	金融関係団体等を名乗る者が、顧客から暗証番号を聞き出す
		3	生体情報の漏洩	①	偽の生体物が作成される
		4	カードの盗難	①	休眠口座のキャッシュカードが窃取される
				②	金融関係団体等を名乗る者により、キャッシュカードを詐取される
				③	キャッシュカード発行時に旧キャッシュカードが適切に廃棄されず詐取される

【ATMシステム】

フェーズ		リスク			
		項目		本検討会で検討した主なリスクの例	
Ⅳ	被害発生時	1	異常取引の検知	①	異常取引検知の機能が事実上、機能していない
		2	顧客からの申出の適時・適切な受付・対応	①	受付窓口が顧客にわかりにくい
				②	受付・対応窓口の営業時間が限定的である
		3	被害にあう可能性のある顧客を特定できない 被害にあう可能性のある顧客に対し、速やかに連絡・周知することができない	①	異常取引を検知したものの、顧客と連絡が取れず、被害の有無等の確認が遅れる
				②	被害事案等の公表、顧客への周知等に関する態勢が不十分
		4	限度額が過大のため、顧客の申出前に多額の被害が発生	①	ATMの取引限度額が適切に設定されていない
Ⅴ	事後対応	5	防犯ビデオが十分に機能しない	①	ビデオの画質や設置位置が正しく調整されていない
		1	金融機関間での適時の情報共有ができず、被害が他金融機関にも拡大する	①	被害状況・手口等に関する情報の共有が遅れる
		2	被害の偽装	①	被害の偽装を判別できない

(注1) 上記リスクは、本検討会において検討したリスクの一例であり、検討の全てではない。

(注2) 上記リスクは、国内及び外国において既発生の手口、可能性が指摘されているリスクをもとに列挙したものであるが、将来にわたる全てのリスクを網羅するものでない一方、列挙した全てが顕在化すると限らず、国内の現状においては現実的でないリスクも含まれている。各金融機関は顧客や業務の特性に応じてリスクを選別し、対策を講じることが必要である。